

漁海況情報第12報 (2018年3月2日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

親潮の南下が停滞しており、沿岸は暖水が優勢で高水温となっています。

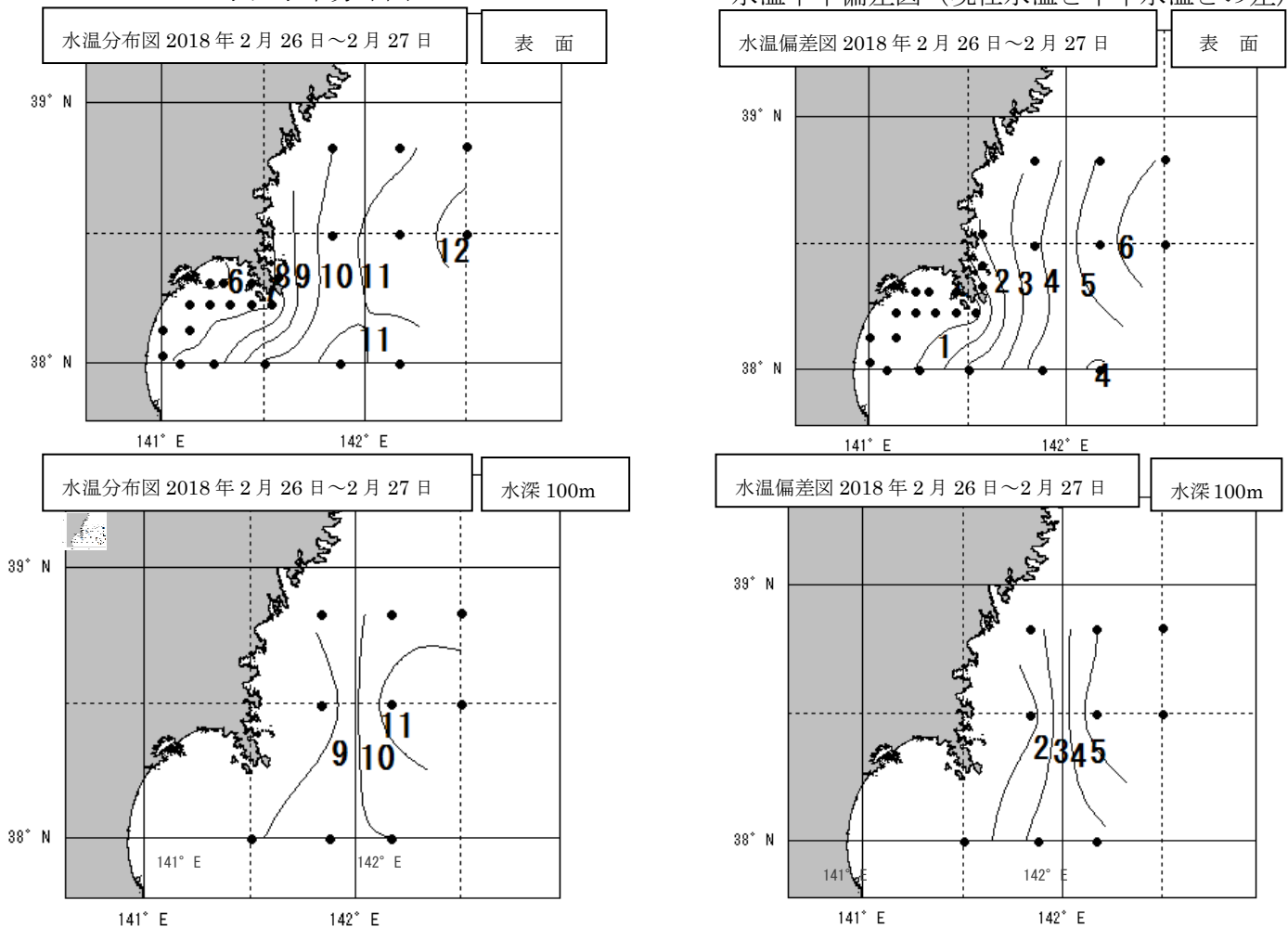
宮城県沿岸の表面水温は5～12℃台、100m深水温は8～11℃台となっています。仙台湾内はおおむね平年並の水温ですが、沿岸部は暖水に覆われ2～6℃高くなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。水温鉛直断面図からは、表層を10℃以上の水が覆っているのが見て取れます。[P2.水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮は三陸沿岸を南下し宮古～釜石に接岸していますが、北上暖水と三陸沖暖水塊が勢力を維持しており、釜石～綾里沿岸に潮境を形成しています [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

2月下旬の定地水温は4～9℃台となっています。歌津と江島でやや高め、その他測点では平年並みです。海底直上水温は6～8℃台です。[P3.海底直上水温図]。

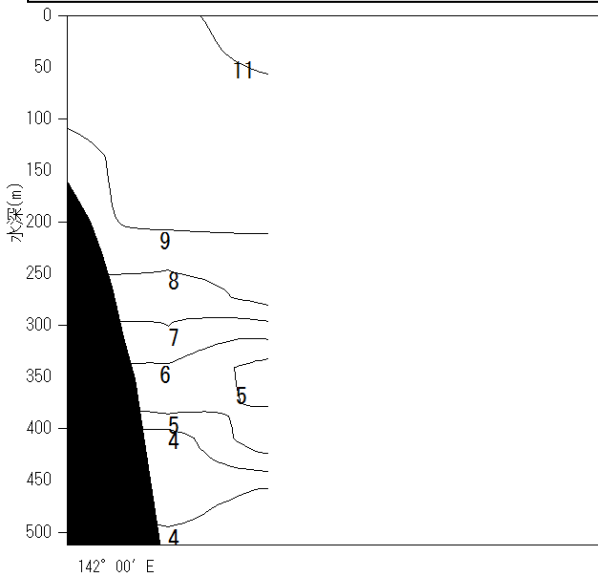
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

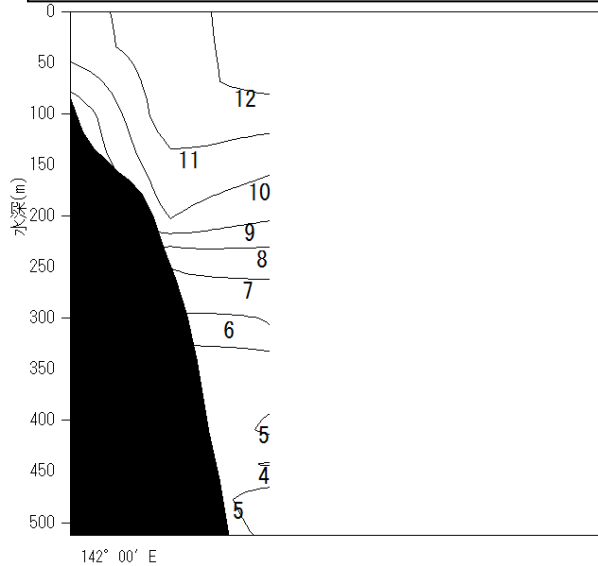


・水温鉛直断面図

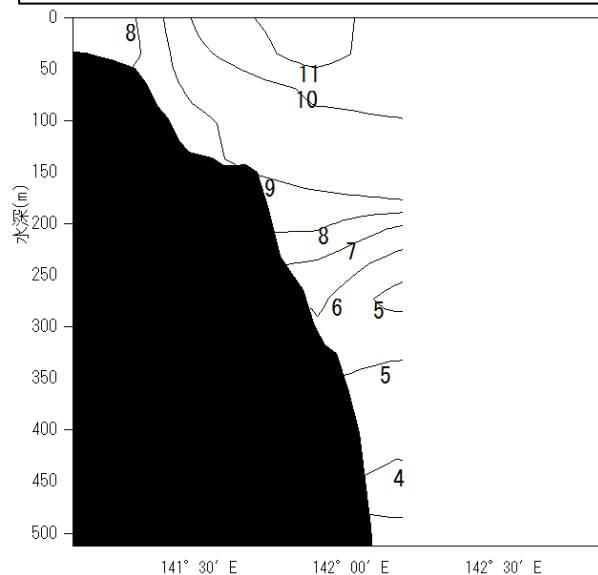
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

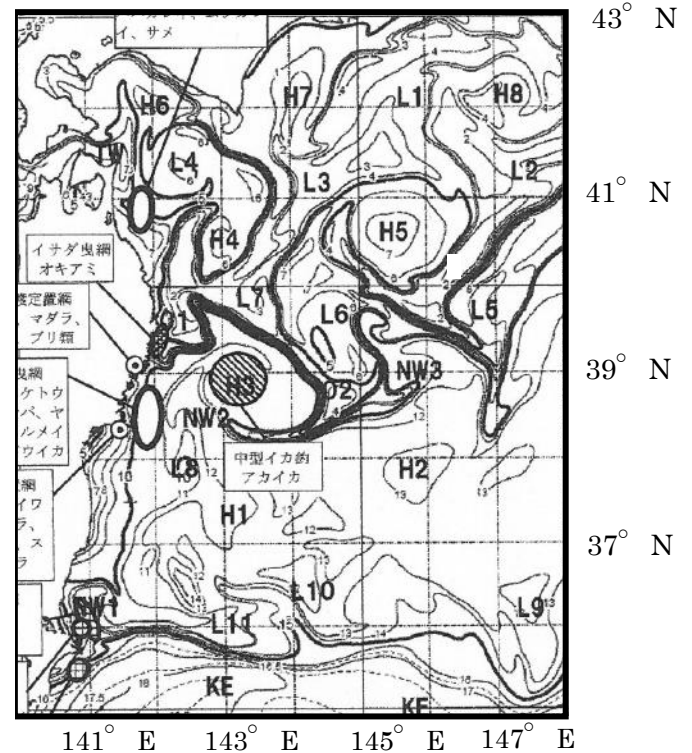


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2018年2月26日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

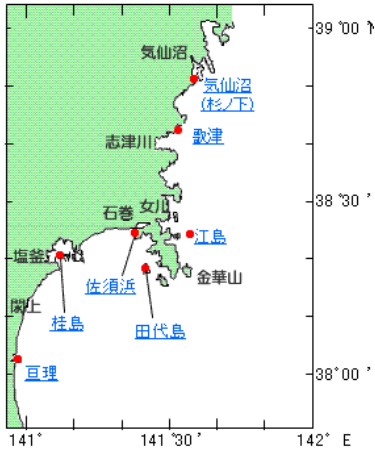
【海況】(2月26日表面水温)

- ・親潮が三陸沿岸を南下, 5°C以下が宮古~釜石に接岸。
- ・北上暖水と三陸沖暖水塊が勢力を維持, 釜石~綾里沿岸に潮境を形成。
- ・沿岸水温は下北~釜石 4~6°C台, 綾里~日立 8~9°C台, 仙台湾~常磐 5~7°C台。
- ・黒潮は太東崎に接岸後, 房総沖を東進。
- ・鹿島灘では 141° E 付近を 11~13°C台の暖水が日立沖まで北上。
- ・日立~波崎 9~10°C台, 犬吠埼~九十九里浜 11~12°C台。

【漁況】(2月21~26日)

- ・まき網: 1 そうまき網は那珂湊~犬吠沖で2夜操業, マサバ 12,700 トンとマイワシ 1,000 トンを漁獲。2 そうまき網は九十九里沖などでイサダ, カスゴ, マイワシを漁獲。
- ・定置網: 石巻と大船渡はマイワシ主体, 石巻でスケトウダラが増加。
- ・春漁オキアミは 2/22 に解禁, 岩手で好漁場が形成されたが宮城は漁獲皆無。
- ・イカ類: 底曳網は石巻がヤリイカ 13 トンを水揚げ。

・定地海洋観測



	2月下旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	7.6	平年並み	0.5	0.7
歌津	8.2	やや高め	0.9	0.6
江島	9.0	やや高め	1.4	1.3
田代島	6.5	平年並み	-0.3	-1.0
佐須浜	6.5	平年並み	-0.1	-0.5
桂島	4.7	平年並み	0	-0.4
巨理	6.6	平年並み	-0.3	-

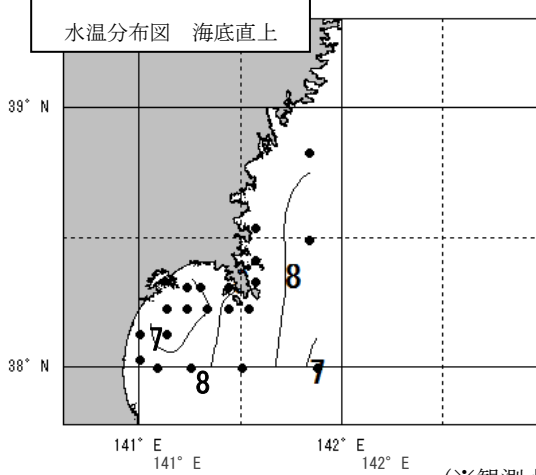
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

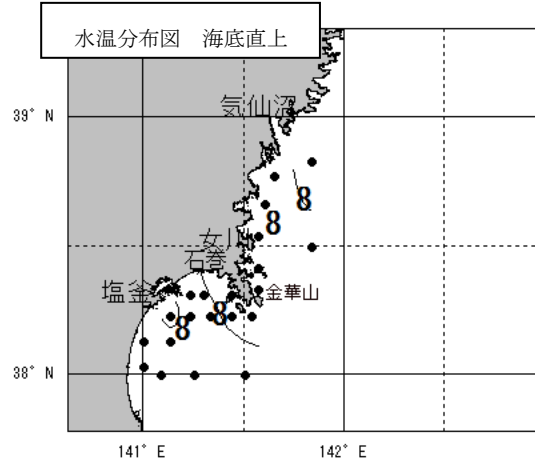
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年2月26日～27日)



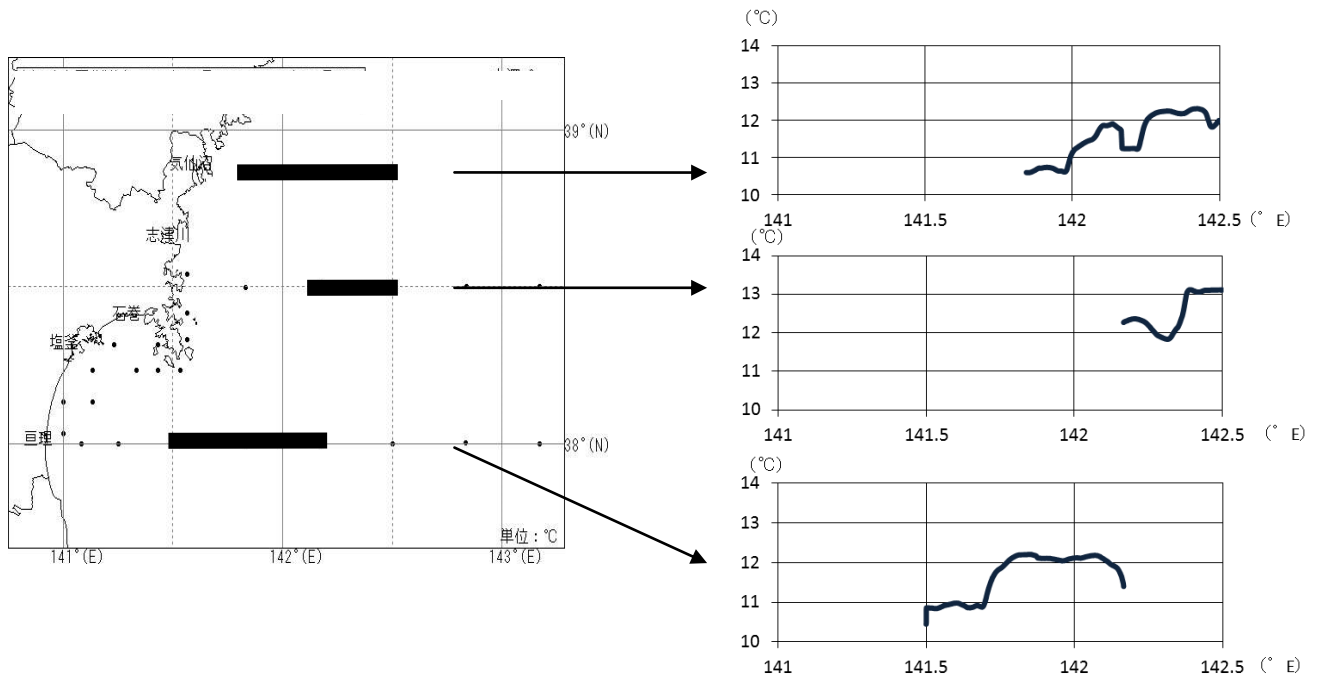
・海底直上水温(2017年3月7日～9日)



(※観測水深は500mまでです)

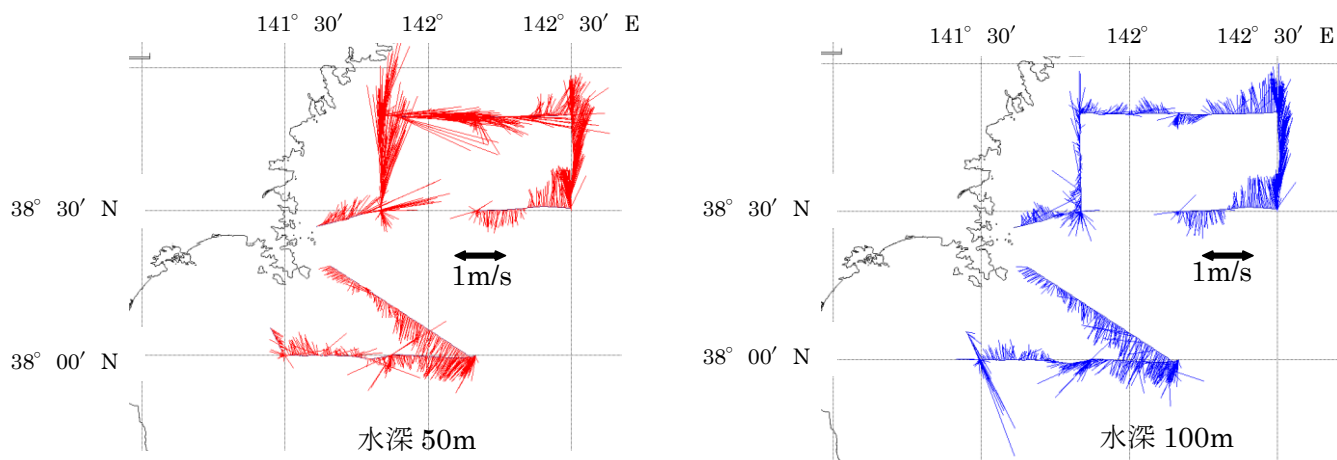
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。142° 30' E 付近や気仙沼沖 142° E 以西で北向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

前年と比較して、メバチ、マダラ、ビンナガ、サバ類などが水揚げを伸ばしており、前年 2 月にはわずかな漁獲であったサメガレイやキチジも水揚げされています。一方でババガレイ、ヒラメ、ヤリイカ等の水揚げは減少しています。

(単位：トン)

2017年2月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									251		48	299	140%
メバチ									92		7	99	341%
マイワシ	0	0				2353	0				4	2357	129%
サバ類	206	9	10149			4	0				10	10377	137%
スルメイカ	20	0	0			0					0	20	93%
ヤリイカ	89	4	1			3					0	97	78%
マダラ	336	66	0			58	38				33	533	161%
スケトウ	75	23	0			22	1				2	122	120%
ヒラメ	10	6	0			0	1				1	19	67%
マコガレイ	1	15	0			0	10				19	45	86%
マガレイ		4	0			0	3				1	7	56%
ババガレイ	16	1	0			0	2				5	24	133%
サメガレイ	6	0	0								0	6	前年水揚げ極小
キチジ	19										0	19	前年水揚げ極小

5. 調査船運航計画

みやしお	
3月8日	イカナゴ漁期前調査
3月12日	
3月19~20日	放射能サンプル調査
随時	オキアミ調査
開洋	
3月7日	イカナゴ漁期前調査
3月12日	刺網調査
3月26日	
3月15日	貝毒プランクトン調査